

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者又は団体					推薦又は応募理由
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別				
							就業歴	主な漁業種類									
1	中立	曾場尾 雅宏	59	男	弁護士	昭和60年4月～平成元年3月 早稲田大学法学部 平成元年4月～平成10年1月 国税庁 平成15年10月～ 弁護士	—	—	長崎県弁護士会	中村 尚志	—	—	—	被推薦者は弁護士として20年の経験を有し、海区漁業調整委員会の所掌事項に関して、法律の専門家として中立的な立場からの確かな助言が可能と思われる。			
2	漁業者	二宮 昌彦	66	男	漁業 (漁協長)	昭和52年3月 私立博多高等学校卒業 平成9年3月～平成15年6月 敵原町漁業協同組合理事 平成13年6月～平成16年2月 敵原町議会議員 平成16年3月～平成17年5月 対馬市議会議員 平成21年6月～ 敵原町漁業協同組合代表理事組合長 平成21年6月～ (特非)長崎県水難救済会会長 平成22年5月～平成29年3月 長崎県漁船保険組合理事 平成29年4月～平成30年5月 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 平成23年5月～ 長崎県海面利用対馬地区協議会会長 平成25年6月～令和元年9月 対馬南地区沿岸協力会会長 平成25年5月～平成26年9月 (公財)海上保安協会常任幹事 平成26年9月～ (公財)海上保安協会副支部長 平成26年4月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社理事 平成26年6月～ 岐岐・対馬シラ漬実行組合組合長 平成28年3月～令和元年5月 対馬市広域水産業再生委員会会長 平成30年6月～令和6年5月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事 令和元年9月～現在 対馬南地区沿岸協力会監事 令和3年4月～現在 対馬海区漁業調整委員会委員 令和3年6月～令和6年5月 長崎県漁業協同組合連合会理事 令和3年7月～令和5年7月 対馬市漁業協同組合会長 令和5年11月～現在 対馬市国境離島新法協議会副会長	47年	中型(しいら漬) まき網漁業	敵原町漁業協同組合	二宮 昌彦	—	—	—	平成21年6月に敵原町漁業協同組合代表理事組合長に就任し、近年の水揚げ減少、磯焼け問題等で漁業経営が危惧される中、漁業経営の改善、指導に尽力を注ぎ、しいら漬まき網漁業にも従事する傍ら旋網問題にも積極的に取組み漁業者のために対馬海域での規制などに携わっている。 対馬市内では漁協初の直売所を開設し地域雇用も推進しており、今後も対馬漁民のためあらゆる漁業問題に向き合い解決策を見いだしてくれると考え、当漁協として海区漁業調整委員に推薦いたします。			
3	学経	阿比留 和秀	68	男	団体役員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和50年3月～昭和55年2月 (株)梅澤 名古屋支店入社及び退社 昭和55年8月～ 美津島町西海漁業協同組合入組 平成17年1月～ 同上 参事就任 平成17年6月～ 同上 員外理事就任 平成27年3月 同上 退職 平成27年6月～ 同上 代表理事組合長就任 平成28年6月～ 長崎県漁業信用基金協会理事就任 平成28年8月～令和3年6月 対馬海区漁業調整委員会委員就任 平成30年6月～令和3年6月 対馬無線漁業協同組合理事 令和3年6月～令和6年6月 長崎県漁業協同組合連合会監事 令和6年5月～長崎県沿岸漁業改善資金対馬地区運営協議会構成員	—	—	美津島町西海漁業協同組合	阿比留 和秀	—	—	—	被推薦者は昭和55年8月より44年以上に渡り美津島町西海漁協の職員及び代表理事組合長として勤務しております。また、10年間漁協の参事として組合員の信頼もあつた模様です。また、美津島町西海漁協は魚類養殖をはじめ貝類養殖も盛んなため、漁業に関する知識も豊富であり、組合員に対しても資源管理や漁業経営の指導も熱心におこなっていることから、漁業調整委員として適任であると認められるため推薦いたします。			
4	漁業者	犬束 満弘	58	男	漁業 (漁協長)	昭和60年3月 県立長崎水産高等学校卒業 昭和60年4月～平成2年3月 斉藤真珠(有) 平成2年4月～ 真珠養殖業(自営) 平成27年6月～ 対馬真珠養殖漁業協同組合理事 令和5年6月～ 対馬真珠養殖漁業協同組合代表理事組合長 令和5年6月～ 全国真珠養殖漁業協同組合連合会理事 令和5年6月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社理事	39年	真珠養殖	—	—	—	—	—	長年組合理事として組合運営や、漁場の改善、資源管理に積極的に取り組んできた。これまで得た知識と経験を漁業調整委員として活かしたい。			
5	漁業者	犬束 満弘	58	男	漁業 (漁協長)	昭和60年3月 県立長崎水産高等学校卒業 昭和60年4月～平成2年3月 斉藤真珠(有) 平成2年4月～ 真珠養殖業(自営) 平成27年6月～ 対馬真珠養殖漁業協同組合理事 令和5年6月～ 対馬真珠養殖漁業協同組合代表理事組合長 令和5年6月～ 全国真珠養殖漁業協同組合連合会理事 令和5年6月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社理事	39年	真珠養殖	対馬真珠養殖漁業協同組合	犬束 満弘	—	—	—	長年組合理事として組合運営や、漁場の改善、資源管理に積極的に取り組んで頂いた。これまで得た知識と経験をH漁業調整委員として活かして頂きたい。			

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況
 ○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者										推薦した者又は団体					推薦又は応募理由
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別				
							就業歴	主な漁業種類									
6	漁業者	船津 博也	77	男	漁業 (漁協長)	昭和41年3月 県立上対馬高等学校卒業 昭和42年5月～ 上県町役場 平成10年4月～ 上県町役場水産課長 平成20年3月 定年退職 平成22年6月～ 佐須奈漁業協同組合理事就任 平成28年6月～ 佐須奈漁業協同組合代表理事組合長就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員就任 平成29年6月～ 長崎県漁業共済組合理事就任 令和6年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事就任	8年	一本釣り漁業 曳縄漁業	—	—	—	—	—	—	組合長就任前は上県町役場の水産課長を歴任し、定年退職後は漁船を購入。一本釣り、曳縄漁業、採介藻漁業を中心に水揚げし、佐須奈漁業協同組合の組合員として漁業を営んでおりました。豊富な行政経験を生かし、組合長就任後も資源管理や組合員の漁業経営の指導に尽力してまいりました。 今後も海区漁業調整委員として指導し、貢献していきたいと思っております。		
7	漁業者	八島 康平	66	男	漁業 (漁協長)	昭和51年4月～昭和53年3月 長崎県立上対馬高等学校卒業 昭和53年4月～平成31年3月 長崎県漁連勤務(福岡事業部担当次長) 平成31年4月～令和2年6月 漁業従事 令和2年6月～ 上対馬町漁業協同組合代表理事組合長 令和2年6月～ 長崎県冷凍設備保安協会理事 令和2年6月～ 対馬北地区暴力追放運動推進協議会委員 令和2年6月～ 海上保安協会比田勝支部長 令和2年6月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社監事 令和2年7月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 令和2年9月～ 対馬海区延縄・一本釣り漁業連絡協議会副会長 令和3年7月～ 日本漁船保険組合長崎県支所総代 令和3年8月～令和5年7月 対馬市漁業協同組合会長副会長 令和3年7月～令和5年9月 長崎県国境離島・外洋離島連絡協議会理事 令和5年9月～ 長崎県国境離島・外洋離島連絡協議会監事 令和6年9月～ 対馬北地区沿岸協力会会長	1年	かご漁業	上対馬町漁業協同組合	八島 康平	—	—	—	昭和53年に長崎県漁連に入会し、以後41年間勤務。主に活、鮮魚事業で、市場の開拓、鮮度保持の指導、規格の統一等を訴え漁業者の所得向上に寄与。平成31年3月に退職後は、地元上対馬町漁協組合員となり、一本釣りやかご漁業を主に営んでいる。令和2年6月に組合長に就任し、近年の資源減少で漁家経営が危惧される中、多くの漁業者と接し資源管理や漁業経営の改善、指導に携わっている。 その豊富な経験を、対馬漁業の今後のために十分発揮できるものと考え、当漁協として海区漁業調整委員に推薦致します。			
8	学経	神田 満男	73	男	団体役員 (漁協長)	昭和44年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和47年12月 上対馬町南部漁業協同組合に就職(勤務) 昭和56年4月～平成18年3月 同 参事として勤務 平成18年4月～平成19年3月 同 参事として勤務(信用担当理事兼務) 平成19年4月 上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協新設合併 平成19年4月～平成23年3月 上対馬南漁業協同組合参事として勤務 平成23年6月～平成29年6月 上対馬南漁業協同組合筆頭理事 平成29年6月～ 上対馬南漁業協同組合代表理事組合長 平成29年6月～ 公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社理事 平成29年6月～ 一般財団法人 対馬地域商社評議員 平成30年6月～ 長崎県信用漁業協同組合連合会監事 令和3年4月～ 対馬海区漁業調整委員 令和3年4月～ 長崎県連合海区漁業調整委員 令和3年4月～ 九州信漁連長崎統括支店運営委員 令和5年7月～ 対馬市漁業協同組合会長理事 令和6年6月～ 九州信漁連代表監事	—	—	上対馬南漁業協同組合	神田 満男	—	—	—	—	神田氏は、昭和47年から現在まで52年間協同組合一筋で、その間、漁協参事として30年、筆頭理事として6年・代表理事3期と要職を歴任し、水協法・漁業法は基より長崎県漁業調整規則等水産に関する法令に精通し、組合員の指導に当たっています。 又、平成19年の上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協の漁協合併においても、中心的立場から、漁協合併を推進するなど、強力なリーダーシップを発揮し組合員からの厚い信頼を得ています。 さらに、小中学校のPTA会長、区長、上対馬地区民生委員を歴任するなど、地域活動にも積極的に取り組んでおり、漁業調整委員にふさわしい人物であることから、当漁協として推薦するものです。		
9	漁業者	豊田 功己	72	男	漁業	昭和52年4月～昭和56年1月 福岡県私立筑紫工業高校中退 昭和56年2月～ 自営業(漁業) 平成14年6月～平成22年6月 伊奈漁業協同組合理事 平成22年6月～令和5年6月 伊奈漁業協同組合代表理事組合長 平成30年7月～ 豊田水産合同会社代表社員 平成30年6月～令和6年5月 日本漁船保険組合長崎支所運営委員 令和5年4月～ 上県町漁業協同組合理事兼伊奈支所長	43年	定置漁業	上県町漁業協同組合	部原 政夫	—	—	—	豊田功己氏は、家業である定置網漁業に昭和56年から従事し、現在は代表社員兼船長として経営に携わっており、長年の経験を活かした漁獲技術は勿論のこと、1ターンや技能実習生の受け入れや、新しい事柄にも積極的に取り組む姿勢を持ち合わせている。 また、平成22年から令和5年まで伊奈漁業協同組合代表理事組合長を務めあげたのち、令和5年の漁協合併後も上県町漁業協同組合理事兼伊奈支所長を勤め漁協の経営安定にも尽力している。 昨今の磯枯れや海洋漂着ゴミ等の問題にも関心が高く、漁業調整委員として資質を備えており推薦するものとする。			

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体		性別	推薦又は応募理由				
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況							
							就業歴	主な漁業種類						
10	漁業者	二宮 昌彦	66	男	漁業 (漁協長)	昭和52年3月 私立博多高等学校卒業 平成9年3月～平成15年6月 厳原町漁業協同組合理事 平成13年6月～平成16年2月 厳原町議会議員 平成16年3月～平成17年5月 対馬市議会議員 平成21年6月～ 厳原町漁業協同組合代表理事組合長 平成21年6月～ (特非)長崎県水難救済会会長 平成22年5月～平成29年3月 長崎県漁船保険組合理事 平成29年4月～平成30年5月 日本漁船保険組合長崎支所運営委員 平成23年5月～ 長崎県海面利用対馬地区協議会会長 平成25年6月～令和元年9月 対馬南地区沿岸協力会会長 平成25年5月～平成26年9月 (公財)海上保安協会常任幹事 平成26年9月～ (公財)海上保安協会副支部長 平成26年4月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社理事 平成26年6月～ 杵岐・対馬シイラ漬実行組合組合長 平成28年3月～令和元年5月 対馬市広域水産再生委員会会長 平成30年6月～令和6年5月 長崎県信用漁業協同組合連合会理事 令和元年9月～現在 対馬南地区沿岸協力会監事 令和3年4月～現在 対馬海区漁業調整委員会委員 令和3年6月～令和6年5月 長崎県漁業協同組合連合会理事 令和3年7月～令和5年7月 対馬市漁業協同組合会長 令和5年11月～現在 対馬市国境離島新法協議会副会長	47年	中型(しいら漬) まき網漁業	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	平成21年6月に厳原町漁業協同組合代表理事組合長に就任し、近年の水揚げ減少、磯焼け問題等で漁家経営が危惧される中、漁業経営の改善、指導に尽力を注ぎ、しいら漬まき網漁業にも従事する傍ら旋網問題にも積極的に取組み漁業者のために対馬海域での規制などに携わっている。 対馬市内では漁協初の直売所を開設し地域雇用も推進しており、今後も対馬漁民のためあらゆる漁業問題に向き合い解決策を見いだしてくれると考え、当会として海区漁業調整委員に推薦いたします。
11	漁業者	植木 忠勝	69	男	漁業 (漁協長)	昭和45年3月 雑知中学校卒業 昭和45年4月～ 家業の漁業を継ぐ 昭和53年4月～平成5年3月 美津島町高浜漁協青年部部長 昭和62年7月～平成2年6月 美津島町高浜漁協理事に就任 平成17年6月～平成20年6月 美津島町高浜漁協副組合長に就任 平成29年6月～令和2年6月 美津島町高浜漁協理事に就任 令和2年6月～ 美津島町高浜漁協代表理事組合長に就任 令和2年6月～ 対馬海区延縄・一本釣り漁業連絡協議会会長 令和2年6月～ 長崎県JF共済推進本部運営委員 令和3年4月～ 対馬海区漁業調整委員	54年	はえ縄漁業 一本釣り漁業 いかつり漁業	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	植木忠勝氏は54年間漁業に従事し、美津島町高浜漁協の高浜船団の船団長として長年船団の中心となり、コンテナによる活魚の出荷、短蓄生簀の出荷調整など取組み、漁家経営の向上に貢献し、海区の漁業状況も理解し、組合員の信頼も厚く指導力も優れています。 青年部長として、活動実績発表大会においては長崎県で優勝、全国大会では水産庁長官賞を受賞の経験もあります。 また、美津島町高浜漁業協同組合では、理事、副組合長を経験し、令和2年6月から代表理事組合長として就任し、これからの対馬の漁業の発展に貢献する事と思えます。 以上のことから、対馬海区の漁業調整委員に推薦するものです。
12	漁業者	宮崎 義則	67	男	漁業 (漁協長)	昭和47年3月 鴨居瀬中学校卒業 昭和47年4月～ 漁業に従事(一本釣り、曳縄、素潜漁業) 平成31年6月～令和4年6月 対馬曳縄協議会会長 令和元年7月～ 美津島町漁協理事就任 令和4年6月～ 美津島町漁協代表理事組合長就任 令和4年6月～ 長崎県いかつり協議会理事 令和4年6月～ 長崎県かん水養殖協議会副会長 令和4年6月～ 対馬南地区沿岸協力会会長 令和4年6月～ 公益財団法人 海上保安協会厳原支部理事 令和4年7月～令和5年11月 対馬栽培漁業振興公社理事 令和5年6月～ 長崎県国境離島・外洋離島連絡協議会役員 令和5年7月～ 対馬市漁業協同組合会長 令和5年11月～ 対馬栽培漁業振興公社評議員 令和6年6月～ 日本漁船保険組合運営委員 令和6年6月～ 長崎県漁業共済組合理事	50年	一本釣り 曳縄 素潜	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	宮崎氏は漁業経験が20年以上あり対馬の漁業種類及び海域の事は熟知している。また、対馬市曳縄協議会の会長にも就き、その統率力と漁業団体との交渉力もあり、資源管理や漁業経営改善等にも積極的に取り組み、地元漁業者への指導も自らが先頭に立ち行っている。併せて、当会では会長として主に大臣許可漁業並びに知事許可漁業との調整を図る等、漁場利用に関する紛争の防止や解決策にも尽力していることから当会として推薦いたします。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者						推薦した者又は団体					性別	推薦又は応募理由
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況		氏名又は名称	代表者名	職業	年齢		
							就業歴	主な漁業種類						
13	漁業者	部原 政夫	88	男	漁業 (漁協長)	昭和27年4月～昭和31年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和31年4月～昭和49年4月 鹿見漁業協同組合に就職 昭和49年5月～昭和54年11月 鹿見漁業協同組合長に就任・漁協合併のため 昭和54年11月～ 上県町漁業協同組合長に就任(鹿見・仁田漁協合併) 平成6年6月～平成10年6月 (株)長崎魚市取締役に就任2期 平成6年6月～平成13年6月 長崎県漁業協同組合連合会会長に就任2期 平成11年6月～平成14年12月 全国共済水産業協同組合連合会会長に就任 平成16年6月～ 対馬栽培漁業振興公社副理事長 現在に至る 平成22年11月～ 対馬市海洋保護区設定推進協議会会長 現在に至る 平成23年7月～ 対馬海区漁業調整委員会会長 現在に至る 平成27年7月～令和3年3月 対馬市漁業協同組合会長5期 平成30年6月～令和3年3月 長崎県漁業協同組合連合会理事 令和3年6月～ 長崎県漁業信用基金協会理事 現在に至る	68年	タイ養殖 一本釣り	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	部原氏は、昭和31年に漁協職員として従事、昭和49年から現在まで組合長に就任するなど長きに亘り組合員と組合を指導する立場として活躍、組合員や地元住民から厚い信頼を得ている。 また、県漁連会長や全国共水連会長を歴任するなど広く水産業発展のためにもその手腕を発揮してきた。 さらに、現在まで漁業調整委員も歴任しており豊富な経験を生かした公正公平な審議運営に定評がある。忙しい公務を縫って漁業活動を精力的に行うなど、現役漁業者としても活躍されている氏を当会として推薦するものである。
14	漁業者	船津 博也	77	男	漁業 (漁協長)	昭和41年3月 県立上対馬高等学校卒業 昭和42年5月～ 上県町役場 平成10年4月～ 上県町役場水産課長 平成20年3月 定年退職 平成22年6月～ 佐須奈漁業協同組合理事就任 平成28年6月～ 佐須奈漁業協同組合代表理事組合長就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員就任 平成29年6月～ 長崎県漁業共済組合理事就任 令和6年6月～ 長崎県漁業協同組合連合会理事就任	8年	一本釣り漁業 曳縄漁業	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	組合長就任前は上県町役場の水産課長を歴任し、定年退職後は漁船を購入。一本釣り、曳縄漁業、採介藻漁業を中心に水揚げし、佐須奈漁業協同組合の組合員となる。豊富な行政経験を生かし、組合長就任後も資源管理や組合員の漁業経営の指導に尽力され、組合員とともに累積赤字の削減に貢献されました。また、組合長会における沖底や大中まき網漁業に係る代表委員として共同漁業権内及び権外の漁業調整にも実績十分であり、漁業調整委員に適任と思われまますので推薦いたします。
15	漁業者	八島 康平	66	男	漁業 (漁協長)	昭和51年4月～昭和53年3月 長崎県立上対馬高等学校卒業 昭和53年4月～平成31年3月 長崎県漁連勤務(福岡事業部担当次長) 平成31年4月～令和2年6月 漁業従事 令和2年6月～ 上対馬町漁業協同組合代表理事組合長 令和2年6月～ 長崎県冷凍設備保安協会理事 令和2年6月～ 対馬北地区暴力追放運動推進協議会委員 令和2年6月～ 海上保安協会比田勝支部長 令和2年6月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社監事 令和2年7月～ 日本漁船保険組合長崎県支所運営委員 令和2年9月～ 対馬海区延縄・一本釣り漁業連絡協議会副会長 令和3年7月～ 日本漁船保険組合長崎県支所総代 令和3年8月～令和5年7月 対馬市漁業協同組合会長副会長 令和3年7月～令和5年9月 長崎県国境離島・外洋離島連絡協議会理事 令和5年9月～ 長崎県国境離島・外洋離島連絡協議会監事 令和6年9月～ 対馬北地区沿岸協会会長	1年	かご漁業	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	昭和53年に長崎県漁連に入会し、以後41年間勤務。主に活、鮮魚事業で、市場の開拓、鮮度保持の指導、規格の統一等を訴え漁業者の所得向上に寄与。平成31年3月に退職後は、地元上対馬町漁協組合員となり、一本釣りやかご漁業を主に営んでいる。令和2年6月に組合長に就任し、近年の資源減少で漁家経営が危惧される中、多くの漁業者と接し資源管理や漁業経営の改善、指導に携わっている。 令和3年8月～令和5年7月では、組合長会副会長に就任し、会の運営は元より、対まき網漁業に係る沿岸漁業者との操業秩序を守るべく、漁業調整に努力した。その他、地元保安部や警察関係と連携し密漁・海難防止、暴力追放など漁業者、市民の生活の安全に努めている。その豊富な経験を、対馬漁業の今後のために十分発揮できるものと考え、当会として海区漁業調整委員に推薦致します。
16	学経	阿比留 和秀	68	男	団体役員 (漁協長)	昭和50年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和50年3月～昭和55年2月 (株)梅澤 名古屋支店入社及び退社 昭和55年8月～ 美津島町西海漁業協同組合入組 平成17年1月～ 同上 参事就任 平成17年6月～ 同上 員外理事就任 平成27年3月 同上 退職 平成27年6月～ 同上 代表理事組合長就任 平成28年6月～ 長崎県漁業信用基金協会理事就任 平成28年8月～ 対馬海区漁業調整委員会委員就任 平成30年6月～令和3年6月 対馬無線漁業協同組合理事 令和3年6月～令和6年6月 長崎県漁業協同組合連合会監事 令和6年5月～長崎県沿岸漁業改善資金対馬地区運営協議会構成員	—	—	対馬市漁業協同組合長会	宮崎 義則	—	—	—	被推薦者は昭和55年8月より44年以上に渡り美津島町西海漁協の職員及び代表理事組合長として勤務しております。また、10年間漁協の参事として組合員の信頼もあつた模様です。また、美津島町西海漁協は魚類養殖をはじめ貝類養殖も盛んなため、漁業に関する知識も豊富であり、組合員に対しても資源管理や漁業経営の指導も熱心におこなっていることから、漁業調整委員として適任であると認められるため推薦いたします。

海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況

○対馬海区漁業調整委員会

番号	区分	推薦を受けた者又は応募した者					推薦した者又は団体		推薦又は応募理由					
		氏名	年齢	性別	職業	経歴	漁業経営状況			氏名又は名称	代表者名	職業	年齢	性別
							就業歴	主な漁業種類						
17	学経	中嶋 武美	76	男	団体役員 (漁協長)	昭和42年4月～昭和46年3月 福岡電子工業大学電子工学部電子工学科 (工学博士号取得) 昭和47年9月～平成9年7月 長崎県信用漁業協同組合連合会(25年間)組員育成指導 平成3年7月～平成11年6月 同上 上対馬出張所所長就任 平成3年7月～平成11年6月 長崎県経営指導協会から経営指導員を委嘱 平成11年7月～ 旧網島漁業協同組合組員取得～現豊玉町漁協組員 平成25年7月～平成28年6月 豊玉町漁業協同組合代表監事 平成28年7月～平成31年2月 豊玉町漁業協同組合筆頭理事 平成31年3月～ 豊玉町漁業協同組合代表理事組合長 平成31年3月～ 山口県沖合底びき網漁業との交渉委員 令和元年8月～ 対馬海区アラ縄漁業部会会長 令和5年3月～ 対馬市広域水産業再生委員会副会長 令和5年6月～ 長崎県いか釣漁業協議会会長 令和5年7月～ 全国いか釣漁業協議会幹事 令和5年7月～ 対馬市漁業協同組合会長理事 令和6年7月～ 長崎県漁業協同組合連合会監事	—	—	対馬市漁業協同組合会長	宮崎 義則	—	—	—	昭和47年、県信漁連に入会後、協同組合法、水協法、経営学等を習得、平成3年県経営指導協会から経営指導員を委託され、県全域漁協の経営や組員婦人部の育成指導に取り組むなど知識や指導経験等は豊富である。平成11年信漁連退職後は豊玉町漁協組員となり、イカ釣・採介藻等の漁業経営を始め、豊玉町漁協役員2期(6年)を経て、平成31年に同漁協の組合長に就任。令和5年全国いか釣協議会幹事並びに県いか釣協議会会長の就任をはじめ、これまで県漁連監事、対馬市組合長会理事など、漁業関係15協議団体、地域関係10協議団体の役員を歴任する等、地域振興や教育指導面においても顕著なものがある。 当会としても、知識、経験、指導力等を総合的に評価した結果、学識経験委員として適任であると認め推薦致します。
18	学経	大江 長泰	64	男	団体役員 (漁協長)	昭和53年12月 峰町東部漁業協同組合職員 平成13年9月～平成27年10月 峰町東部漁業協同組合信用部主任 平成27年11月～平成31年3月 長崎県信用漁業協同組合連合会出向 対馬支店長代理 平成31年4月～令和6年3月 峰町東部漁業協同組合復職 令和5年6月～令和6年6月 峰町東部漁業協同組合理事 令和6年6月～ 峰町東部漁業協同組合代表理事組合長 令和6年7月～ 九州信用漁業協同組合連合会長崎県運営委員 令和6年7月～ (公財)対馬栽培漁業振興公社理事 令和6年7月～ 対馬市いか釣漁業協議会顧問 令和6年7月～ 長崎県いか釣漁業協議会理事 令和6年7月～ 対馬海域外国漁船操業対策特別委員会委員	—	—	対馬市漁業協同組合会長	宮崎 義則	—	—	—	被推薦者は、昭和53年より40年以上に渡り、峰町東部漁協の職員・役員を務めており、特に管内で盛んないかつり漁業や定置網漁業、採介藻漁業については水産資源の増減・変化を実体験として経験され、貴重な知見を有しておられます。また、漁業者と共に藻場の造成、資源管理に取組まれ、漁業者の経営指導にも長年尽力されており、委員として有益な提案をしていただけることが期待されることから、委員に推薦するものです。
19	学経	神田 満男	73	男	団体役員 (漁協長)	昭和44年3月 長崎県立対馬高等学校卒業 昭和47年12月 上対馬町南部漁業協同組合に就職(勤務) 昭和56年4月～平成18年3月 同 参事として勤務 平成18年4月～平成19年3月 同 参事として勤務(信用担当理事兼務) 平成19年4月 上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協新設合併 平成19年4月～平成23年3月 上対馬南漁業協同組合参事として勤務 平成23年6月～平成29年6月 上対馬南漁業協同組合筆頭理事 平成29年6月～ 上対馬南漁業協同組合代表理事組合長 平成29年6月～ 公益財団法人 対馬栽培漁業振興公社理事 平成29年6月～ 一般財団法人 対馬地域商社評議員 平成30年6月～ 長崎県信用漁業協同組合連合会監事 令和3年4月～ 対馬海区漁業調整委員 令和3年4月～ 長崎県連合海区漁業調整委員 令和3年4月～ 九州信漁連長崎統括支店運営委員 令和5年7月～ 対馬市漁業協同組合会長理事 令和6年6月～ 九州信漁連代表監事	—	—	対馬市漁業協同組合会長	宮崎 義則	—	—	—	神田氏は、昭和47年から現在まで52年間協同組合一筋で、その間、漁協参事として30年、筆頭理事6年・代表理事3期と要職を歴任し、水協法・漁業法は基より長崎県漁業調整規則等水産に関する法令に精通し、組合員の指導に当たっています。 又、平成19年の上対馬町琴漁協と上対馬町南部漁協の漁協合併においても、中心的立場から、漁協合併を推進するなど、強力なリーダーシップを発揮し組合員からの厚い信頼を得ています。 さらに、小中学校のPTA会長、区長、上対馬地区民生委員を歴任するなど、地域活動にも積極的に取り組んでおり、漁業調整委員にふさわしい人物であることから、当会として推薦するものです。
20	中立	松尾 裕隆	70	男	税理士	昭和52年6月～平成19年6月 長崎県漁業信用基金協会 勤務 平成21年3月 長崎大学大学院経済学研究科(博士後期課程) 経営意思決定専攻 修了 博士(経営学)DBA取得 平成23年3月～現在 税理士登録 以降税理士として活動	—	—	九州北部税理士会長崎支部	野崎 地平	—	—	—	税理士としての業務を13年経験し、中立的な立場から漁業調整委員の所掌に属する事務に関する的確な助言が可能であること。 以前勤務していた長崎県漁業信用基金協会では、融資保証業務に従事し、漁業についての一通りの知識を有するとともに、日本政策金融公庫の水産業経営アドバイザーの資格も有し当該資格にかかる定期的な研修を随時受講していることから、企業経営や漁業経営の観点からも助言が可能であること。